

# 出向く営農レポート

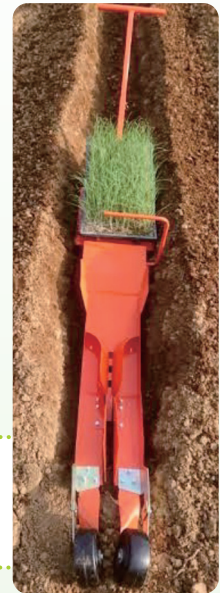
～ネギ栽培について～



北部営農センター尾張旭地区担当  
大津和也

尾張旭地域では学校給食への出荷を積極的に行っています。今回訪問したのは産直施設・給食センターへの出荷を目指して今年からネギ栽培を始めた立松さんの圃場です。規格に合わせたきれいなネギを出荷するため定期的に圃場を訪問し、病害虫に注意しながら殺虫・殺菌剤散布の指導を行っています。

6月初旬に簡易定植器ひっぱりくんを使い、ネギ苗(チェーンポット)定植を行いました。ひっぱりくんはネギ苗(チェーンポット)専用の移植器で、移植時の溝切り→植え付け→土寄せ→鎮圧を同時に行え、作業負担の軽減につながるため使用をお勧めしました。



## ひっぱりくん

チェーンポット(連結式のペーパーポット)をセットし、ひっぱるだけで簡単に植え付けができます。  
レンタル農機として1500円で貸出しています。



7月中旬での圃場の様子

ネギは土寄せを繰り返して軟白部分を伸長させていきます。その土寄せ時に傷がつき、そこから軟腐病<sup>なんぷびょう</sup>など病気になる事がありますので予防が大切です。今回は、次回土寄せ時にオリゼメート粒剤を使用する事を指導しました。

11月～1月頃までの出荷に向け良質なネギを栽培できるよう今後も訪問と指導を行います。



軟腐病のネギ



オリゼメート粒剤：  
6kg/10a 土寄せ時に株元散布  
収穫30日前まで使用可

